

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[51] 『鬼滅の刃』と聖地巡礼	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 国際学科 教授 橋元 志保 (計1名)
授業概要	2023年冬、ワールドツアーが行われ、世界95の国と地域で上映された『鬼滅の刃』。炭治郎や禰豆子、善逸、煉獄、義勇といった魅力あふれる登場人物たちを生み出した、日本の風土と文化に今、世界の注目が集まっています。『鬼滅の刃』の魅力の秘密に迫ります。		
授業方針	パワーポイントを使用して、物語の舞台をはじめとする様々な映像を視聴しながら、『鬼滅の刃』と日本の風土・文化との深いつながりを明らかにします。鬼と人の文化史や物語の世界観・人物像・テーマ等について解説します。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4337 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「『鬼滅の刃』と聖地巡礼」 <6月24日（土）13:20~14:50> 実は炭治郎や禰豆子、善逸たちは、日本の美しい自然や神社とゆかりが深い人物なのです。物語の舞台となった東京・京都・九州の聖地を中心に『鬼滅の刃』の登場人物たちの魅力の秘密に迫ります。</p> <p>第2講：「『鬼滅の刃』の生命観」 <6月24日（土）15:00~16:30> 炭治郎をはじめとする鬼滅隊士たちは何故、人間よりもはるかに強靱で様々な異能を持つ鬼(不死者)と、命がけで戦い続けるのでしょうか。『鬼滅の刃』のテーマの一つは「生きることの意味」です。煉獄の最期の言葉のように、作品に刻印された手がかりをもとに「いのちとは何か」について皆で考えていきましょう。</p>			
その他			
テキスト	資料を配付します。		
参考文献	授業時に紹介します。		
関連科目	国語、地理、日本史等		